

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス まんなか		
○保護者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	7年 12月 1日		～ 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	8年 2月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティング、チャットなどで情報共有ができています。最新の情報が入りやすい。lineで密に連絡が保護者と取れている。 ・職員間のコミュニケーションが取れている。 ・研修も多く参加できる環境で、学びの機会が多い。 ・プログラムがバリエーション豊かに工夫されている。 ・おやつを提供場面でも選択制を取り入れることができています。 ・他の事業所や学校との情報共有もできています。 ・強度行動障害や多動などある児童の受け入れ体制ができています。 ・職員全員が前向きで活気がある。 ・チーム力が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・line以外での手段でも送迎時などに情報共有を意識的にしている。スピード感や正確性にも配慮している。 ・プログラムについても年齢も幅広く能力の差もあるため、臨機応変に個々への対応を柔軟にできている。 ・自閉症の児童の関わり方を、研修を通じて学ぶことができているため、虐待事案にも気を付けることができています。 ・インカムの活用や電子機器を取り入れている。公式lineも使用している。 ・サービスの情報共有も保護者へ配信している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流イベントを企画していく。 ・インスタに多くの情報や、支援内容を配信していくことで保護者へ支援の雰囲気や伝わるのでは。 ・まんなかが行っているイベントや行事なども、公表していくと良い。 ・職員向けで行っている研修にも、保護者が参加できるようにしていくと良い。 ・気軽に相談できるよう、事業所からの関わりも行う。 ・年齢の幅が広い。年齢に対してや障害特性への区分けができるとう良い。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋のスペースが狭い。児童が多い時は、狭いことで起こるトラブルもある。 ・行動障害や多動児が多いため、軽度障害の方や重度身体障害の方の居心地の悪さが出てしまう。 ・事故や怪我がないように十分配慮しているが、他害のある児童が多いため、トラブルをきっかけにけがをさせてしまうことがある。 ・年齢、世代、障害の特性に対しての区分けが少ない。 ・発達障害や知的の高い方の支援に対してのスキルの幅が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設開所当初と変わってきているため、支援スペースが狭い状況になっている。 ・1日1つのプログラムしか準備されていない。そのため、目で見える形での準備がされていない。その日に行うことがわからず、トラブルに繋がることもある。 ・支援力の幅にまだまだ広がり余地があるため、今以上に研修に参加して、スキル、経験値を身に付けていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在ある机が大きい場所を取っている。小さい机に変えてスペースを確保していく。 ・1日、レベルに応じた2つ以上のプログラムを考える。 ・様々な研修、勉強会に参加する。 ・他法人への見学をし、他の事業所での対応方法を取り入れる。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス まんなか

公表日 2026年2月2日

利用児童数 31

回収数 12

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10		1	1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			2		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			4		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9		1	2		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10		1	1		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11			1		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11			1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12					
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。			2	10		
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9			3		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	10			2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			7		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11		1			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9		2	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11		1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4		3	5		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				4	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11			1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11			1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			7		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8			4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11			1		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	10			2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	11			1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス まんなか		公表日 2026年2月2日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	・特性に応じて活動スペースを2つに区切り使用している。 ・部屋を分けるよう工夫している。 ・個別支援を行う小さな空間を作る必要がある。 ・仕切りをつけたり、場合によってはワンフロアにして全体をみて支援できるようにして工夫できていると感じる。	・曜日にもよるが、不穏時等、別室に移動していただく際に部屋数がない時もある。 ・人数が10名以上のときは、部屋が小さいためもう少し広いスペースがあってもいいのではないかと思う。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・事業所全体で協力し合っている。 ・児童が多い時は職員配置を増やすことができている。	・曜日にもよるが、不穏時に職員が児童とマンツーマンになり別室に移動となると、職員数が足りなくなる。 ・職員の休みが重なってしまうと同じ建物内に生活介護の職員がいるので、フォローしてもらっているが、調整しなければならないときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	・バリアフリー、インカム使用、活動スペースの区切り。 ・自立課題、視覚支援の配置等が出来ている。 ・活動部屋の目の前が職員室となっているため、対応しやすい。	・絵カードや視覚的なものを増やしていきたい反面、情報が多いと混乱したり気になってしまう子もいるため配慮が必要だと感じる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・必要に応じてマット、椅子が配置されている。 ・清潔を保つため毎日清掃を行なっている。 ・常にできる限り、掃除はしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・クールダウンできるスペース等を設置している。	・曜日によるが、個別の部屋が足りない時もある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	・PDCAについて広く職員と話している。 ・毎日のミーティング	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日のミーティング	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1		・個人が担当してプログラム作成することが多い。企画して、話し合いをすすめることはあるので、役割をまわすなどして分担が必要。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	・最近では、外出支援を取り入れることができている。	・1週間に同じ活動をし、1ヶ月4週ある月なら4つの活動内容をローテーションしているので、マンネリ化しないようなものを考えたり内容を吟味して障害特性に合わせて組み立ててプログラムを考えていく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	・学校での様子を担任に聞いたりもしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	・毎日のミーティング	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	・毎日のミーティング	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0		
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・毎日おやつを選択をしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・学校との情報共有	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	1	・交流する機会があれば良いと思うが。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎時に必ずお話をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・毎日のミーティングで話し合いをし、ご家族にお話をさせてもらっている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	3	・兄弟で、同じ曜日に支援。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・インスタグラムで活動の発信。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	・インスタグラムでは特定されないよう、顔を出さない。 ※同意を取り十分に配慮しながらインスタグラムに投稿している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	・事業所のお祭りを地域の方と一緒にしている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	・年に数回、実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・保護者からの確認のみ	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		

	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0		
--	---	---	---	--	--